

## 平成25年(2013年) 1 ~ 3 月期平均の結果

### < 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	252,386 円		
前年同期比	名目 2.6%の増加	実質 3.3%の増加	
二人以上の世帯は,	291,066 円		
前年同期比	名目 2.1%の増加	実質 2.8%の増加	
単身世帯は,	161,486 円		
前年同期比	名目 5.2%の増加	実質 5.9%の増加	

### < 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	前年同期比	実質 2.1%の増加
二人以上の世帯は,	前年同期比	実質 1.8%の増加
単身世帯は,	前年同期比	実質 4.4%の増加

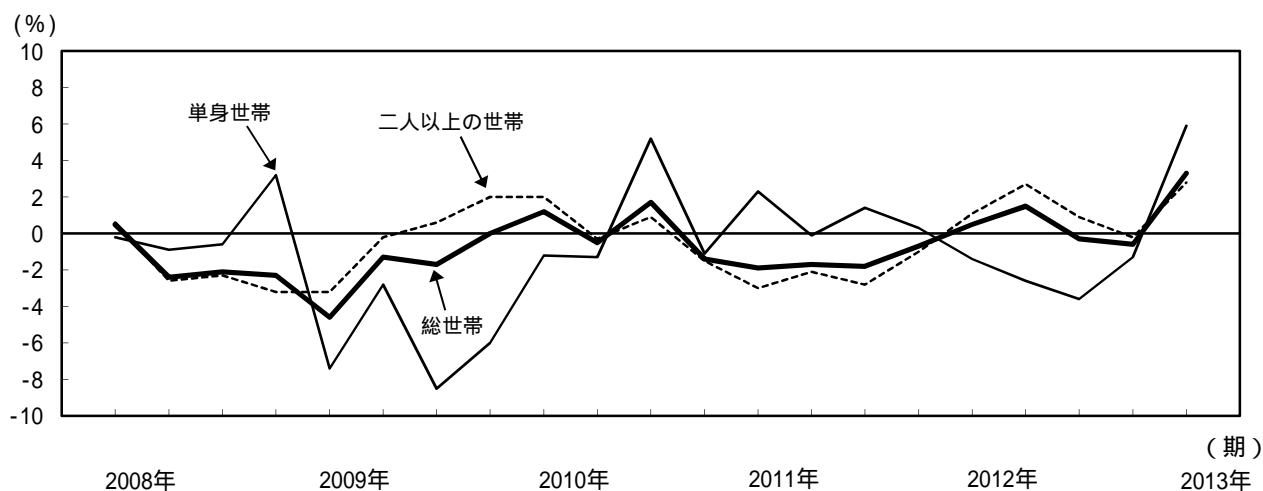
：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

### < 勤労者世帯の収支 >

総世帯は,	実収入	前年同期比	実質 1.3%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 0.3%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 4.8%の増加
	平均消費性向	85.2 %	
二人以上の世帯は,	実収入	前年同期比	実質 0.7%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 0.5%の減少
	消費支出	前年同期比	実質 4.9%の増加
	平均消費性向	87.2 %	

## 消費支出の推移

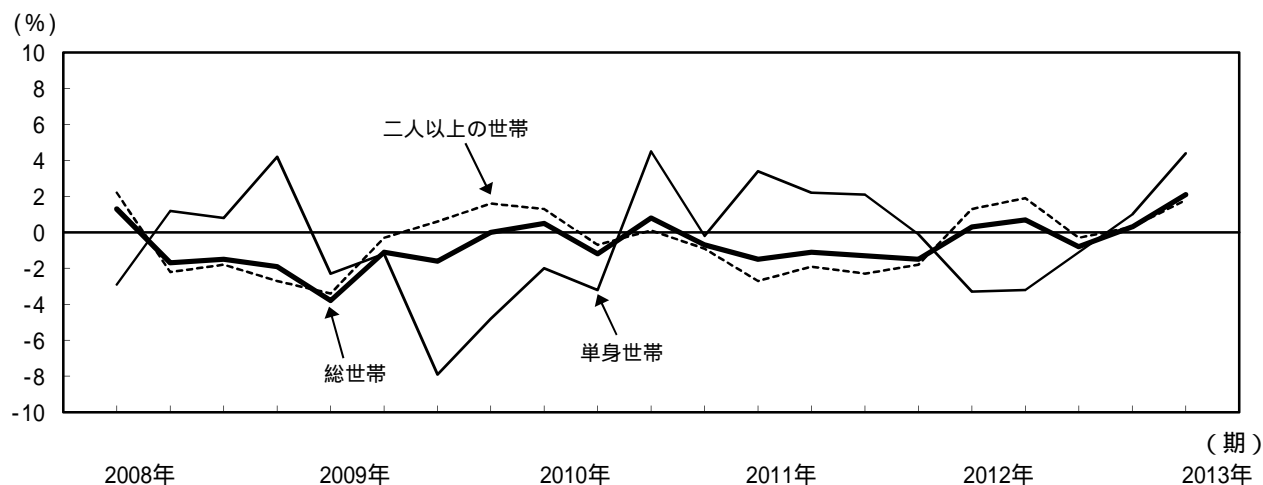
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	2010年				2011年				2012年				2013年		
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3
総世帯	1.2	-0.5	1.7	-1.4	-1.9	-1.7	-1.8	-0.7	0.5	1.5	-0.3	-0.6	3.3		
二人以上の世帯	2.0	-0.3	0.9	-1.5	-3.0	-2.1	-2.8	-1.0	1.1	2.7	0.9	-0.2	2.8		
単身世帯	-1.2	-1.3	5.2	-1.1	2.3	-0.1	1.4	0.3	-1.4	-2.6	-3.6	-1.3	5.9		

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移

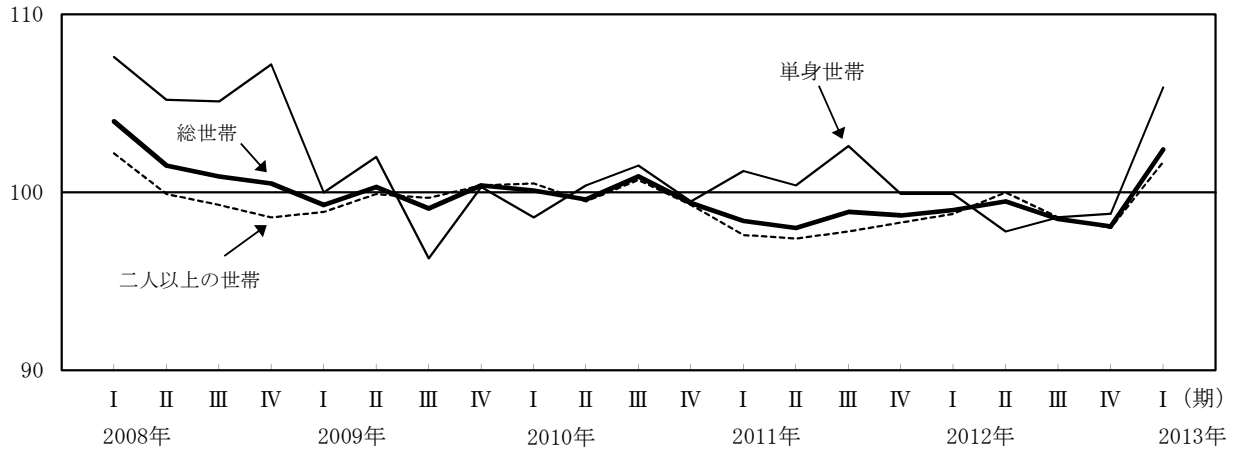


消費支出(除く住居等)	2010年				2011年				2012年				2013年		
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3
総世帯	0.5	-1.2	0.8	-0.7	-1.5	-1.1	-1.3	-1.5	0.3	0.7	-0.8	0.3	2.1		
二人以上の世帯	1.3	-0.7	0.1	-0.9	-2.7	-1.9	-2.3	-1.8	1.3	1.9	-0.3	0.3	1.8		
単身世帯	-2.0	-3.2	4.5	-0.2	3.4	2.2	2.1	-0.1	-3.3	-3.2	-1.1	1.0	4.4		

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

(2010年=100)

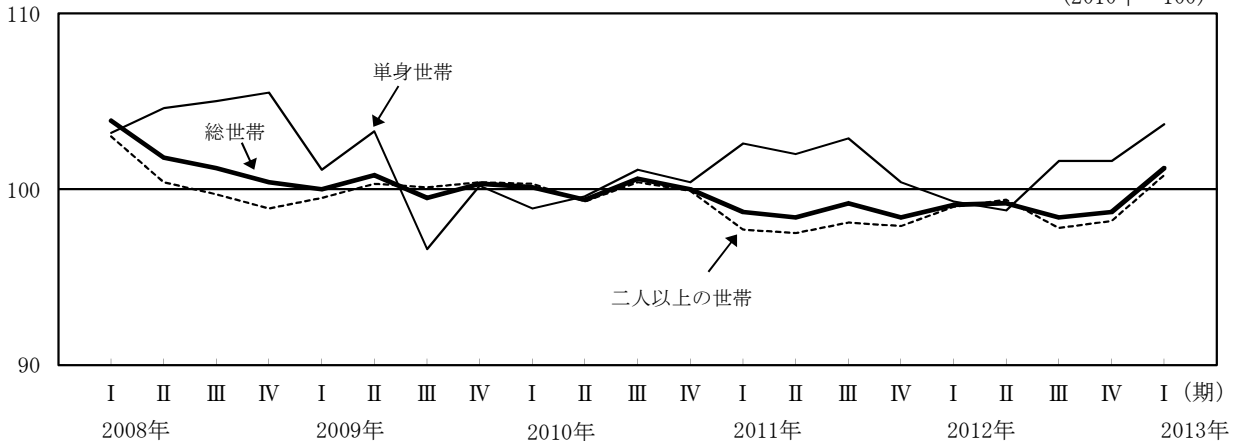


消費支出	2010年				2011年				2012年				2013年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I (期)
総世帯	100.1	99.6	100.9	99.4	98.4	98.0	98.9	98.7	99.0	99.5	98.5	98.1	102.4
対前期変化率(%)	-0.3	-0.5	1.3	-1.5	-1.0	-0.4	0.9	-0.2	0.3	0.5	-1.0	-0.4	4.4
二人以上の世帯	100.5	99.5	100.7	99.3	97.6	97.4	97.8	98.3	98.8	100.0	98.6	98.0	101.7
対前期変化率(%)	0.1	-1.0	1.2	-1.4	-1.7	-0.2	0.4	0.5	0.5	1.2	-1.4	-0.6	3.8
単身世帯	98.6	100.4	101.5	99.5	101.2	100.4	102.6	99.9	99.9	97.8	98.6	98.8	105.9
対前期変化率(%)	-1.7	1.8	1.1	-2.0	1.7	-0.8	2.2	-2.6	0.0	-2.1	0.8	0.2	7.2

- 注1 Iは1～3月期, IIは4～6月期, IIIは7～9月期, IVは10～12月期を表す。  
 2 季節調整の方法は, センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。  
 3 季節調整値は, 1～3月期結果公表時に, 過去に遡って改定している。

図4 消費支出（除く住居等\*）（季節調整済実質指数）の推移

(2010年=100)



消費支出(除く住居等*)	2010年				2011年				2012年				2013年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I (期)
総世帯	100.1	99.4	100.6	100.0	98.7	98.4	99.2	98.4	99.1	99.2	98.4	98.7	101.2
対前期変化率(%)	-0.2	-0.7	1.2	-0.6	-1.3	-0.3	0.8	-0.8	0.7	0.1	-0.8	0.3	2.5
二人以上の世帯	100.3	99.3	100.4	99.9	97.7	97.5	98.1	97.9	99.0	99.4	97.8	98.2	100.8
対前期変化率(%)	-0.1	-1.0	1.1	-0.5	-2.2	-0.2	0.6	-0.2	1.1	0.4	-1.6	0.4	2.6
単身世帯	98.9	99.6	101.1	100.4	102.6	102.0	102.9	100.4	99.3	98.8	101.6	101.6	103.7
対前期変化率(%)	-1.3	0.7	1.5	-0.7	2.2	-0.6	0.9	-2.4	-1.1	-0.5	2.8	0.0	2.1

- 注1 Iは1～3月期, IIは4～6月期, IIIは7～9月期, IVは10～12月期を表す。  
 2 季節調整の方法は, センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。  
 3 季節調整値は, 1～3月期結果公表時に, 過去に遡って改定している。

# 総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

## 1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2013年1～3月期 - 総世帯）

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	252,386	2.6	3.3	3.3		3期ぶりの実質増加
食料	56,079	-0.8	0.9	0.20	<増加>野菜・海藻,果物など	4期ぶりの実質増加
住居	16,960	2.2	2.5	0.17	<増加>設備修繕・維持	3期ぶりの実質増加
光熱・水道	24,717	0.9	-1.8	-0.18	<減少>他の光熱,電気代など	2期ぶりの実質減少
家具・家事用品	7,104	-3.1	1.0	0.03	<増加>家庭用耐久財,家事用消耗品	17期連続の実質増加
被服及び履物	9,840	0.7	0.8	0.03	<増加>洋服,シャツ・セーター類など	4期ぶりの実質増加
保健医療	10,901	2.7	3.3	0.14	<増加>保健医療用品・器具,医薬品など	3期連続の実質増加
交通・通信	36,814	11.5	11.3	1.51	<増加>自動車等関係費,交通など	5期連続の実質増加
教育	8,397	1.2	0.8	0.03		
教養娯楽	24,746	2.7	5.0	0.49	<増加>教養娯楽サービス,教養娯楽用品	2期連続の実質増加
その他の消費支出	56,830	2.9	(3.6)	(0.81)	<増加>仕送り金,諸雑費など	10期ぶりの増加

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

#### 中分類

#### 品目

#### <増加項目>

#### 実質寄与度

自動車等関係費	[1.17]	.....	自動車購入,自動車等関連用品
設備修繕・維持	[0.45]	.....	外壁・塀等工事費,火災・地震保険料
教養娯楽サービス	[0.37]	.....	外国パック旅行費,宿泊料
交際費	[0.29]	.....	贈与金,つきあい費
諸雑費	[0.26]	.....	非貯蓄型保険料,介護サービス
交通	[0.18]	.....	鉄道通勤定期代,鉄道運賃
通信	[0.16]	.....	移動電話通信料,移動電話

#### <減少項目>

家賃地代	[-0.28]	.....	公営家賃,給与住宅家賃
他の光熱	[-0.17]	.....	灯油

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

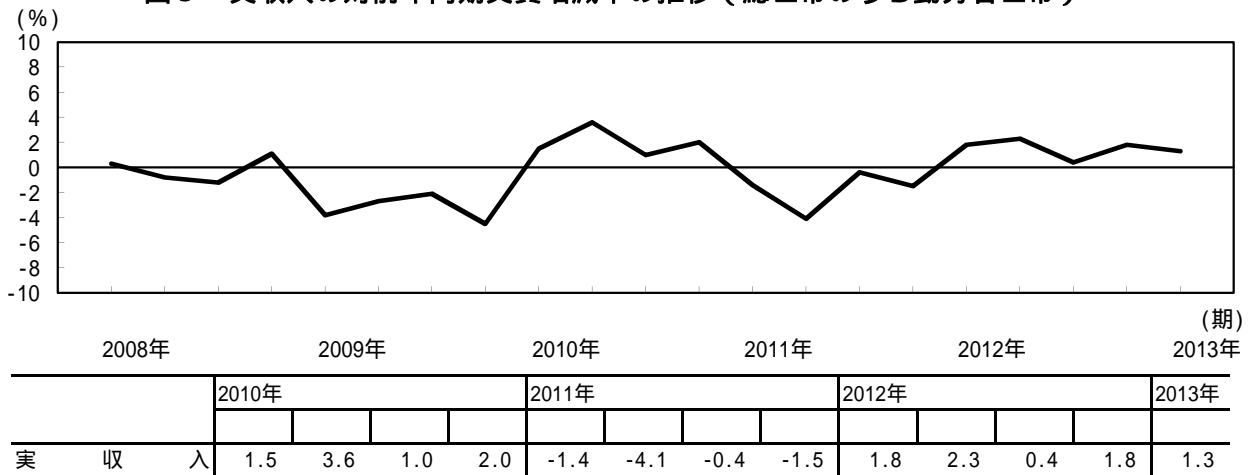
2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

## 2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳(2013年1~3月期 - 総世帯のうち勤労者世帯)

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	407,505	0.6	1.3	1.3	5期連続の実質増加
世帯主収入	331,718	-0.3	0.4	0.29	2期連続の実質増加
定期収入	324,871	-0.7	0.0	-0.03	
臨時収入・賞与	6,847	22.2	23.1	0.32	2期連続の実質増加
配偶者の収入	39,652	10.5	11.3	1.00	6期連続の実質増加
うち女性	39,080	10.6	11.4	0.99	6期連続の実質増加
他の世帯員収入	6,630	11.7	12.5	0.18	2期連続の実質増加
非消費支出	72,591	5.5	-	-	7期連続の増加
可処分所得	334,914	-0.4	0.3	-	2期連続の実質増加
消費支出	285,310	4.1	4.8	-	2期ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	85.2	(前年同期) 81.5	(ポイント差) 3.7		

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移(総世帯のうち勤労者世帯)



注 は1~3月期, は4~6月期, は7~9月期, は10~12月期を表す。

# 二人以上の世帯

## 1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（2013年1～3月期 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	291,066	2.1	2.8	2.8		2期ぶりの実質増加
食料	64,905	-0.3	1.4	0.33	<増 加> 野菜・海藻, 酒類など	2期連続の実質増加
住居	16,008	0.9	1.2	0.06	<増 加> 設備修繕・維持	3期ぶりの実質増加
光熱・水道	29,181	1.2	-1.5	-0.15	<減 少> 他の光熱, 電気代など	2期ぶりの実質減少
家具・家事用品	8,574	-3.7	0.4	0.01	<増 加> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	8期連続の実質増加
被服及び履物	11,563	1.6	1.7	0.07	<増 加> 洋服, シャツ・セーター類など	3期ぶりの実質増加
保健医療	12,491	-1.4	-0.8	-0.04	<減 少> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具	3期ぶりの実質減少
交通・通信	43,049	11.0	10.8	1.46	<増 加> 自動車等関係費, 通信など	5期連続の実質増加
教育	11,970	1.5	1.1	0.05	<増 加> 授業料等, 教科書・学習参考教材	3期ぶりの実質増加
教養娯楽	27,459	0.8	3.1	0.29	<増 加> 教養娯楽用品, 教養娯楽サービス	3期ぶりの実質増加
その他の消費支出	65,867	2.4	(3.1)	(0.69)	<増 加> 仕送り金, 諸雑費など	2期ぶりの増加

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

#### 中 分 類

#### 品 目

##### < 増加項目 >

##### 実質寄与度

自動車等関係費	[1.14]	.....	自動車購入, 自動車等関連用品
設備修繕・維持	[0.54]	.....	外壁・塀等工事費, 設備器具
諸雑費	[0.26]	.....	非貯蓄型保険料, 介護サービス
通信	[0.20]	.....	携帯電話通信料, 携帯電話
教養娯楽用品	[0.17]	.....	スポーツ用品, 動物病院代
教養娯楽サービス	[0.13]	.....	外国パック旅行費, 宿泊料
交通	[0.11]	.....	鉄道通勤定期代, 鉄道運賃
野菜・海藻	[0.10]	.....	ねぎ, トマト

##### < 減少項目 >

家賃地代	[-0.47]	.....	公営家賃, 民営家賃
他の光熱	[-0.14]	.....	灯油

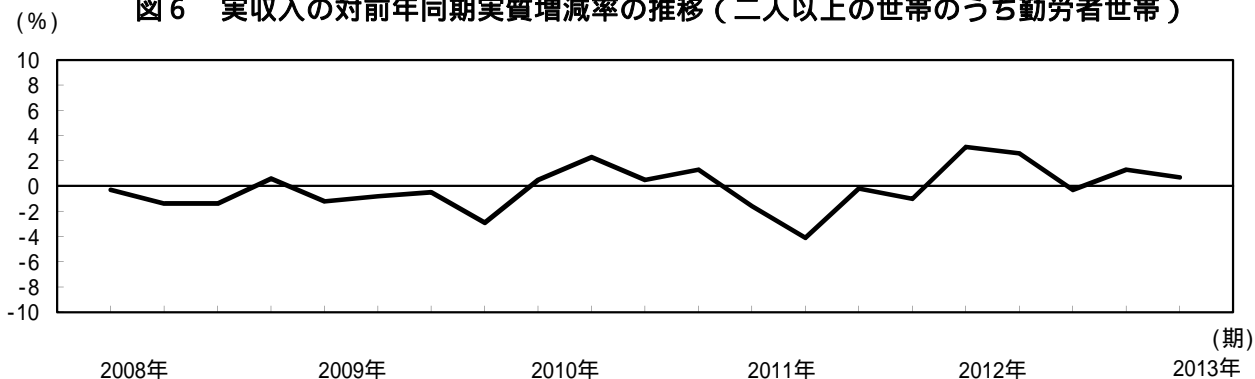
注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

## 2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳(2013年1~3月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への 寄与度 (%)	備考
		名目	実質		
実収入	451,498	0.0	0.7	0.7	2期連続の実質増加
世帯主収入	353,764	-1.1	-0.4	-0.32	3期連続の実質減少
定期収入	345,619	-1.6	-0.9	-0.69	4期連続の実質減少
臨時収入・賞与	8,145	24.4	25.3	0.37	3期ぶりの実質増加
配偶者の収入	54,139	10.5	11.3	1.22	6期連続の実質増加
うち女性	53,358	10.5	11.3	1.21	6期連続の実質増加
他の世帯員収入	9,055	11.7	12.5	0.22	2期連続の実質増加
非消費支出	80,380	5.5	-	-	7期連続の増加
可処分所得	371,118	-1.2	-0.5	-	2期ぶりの実質減少
消費支出	323,568	4.2	4.9	-	5期連続の実質増加
平均消費性向(%)	87.2	(前年同期) 82.7	(ポイント差) 4.5		

図6 実収入の対前年同期実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



項目	2010年				2011年				2012年				2013年
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1
実収入	0.5	2.3	0.5	1.3	-1.6	-4.1	-0.2	-1.0	3.1	2.6	-0.3	1.3	0.7

注 は1~3月期, は4~6月期, は7~9月期, は10~12月期を表す。

# 単身世帯

## 消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳 (2013年1～3月期—単身世帯)

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消費支出	161,486	5.2	5.9	5.9		5期ぶりの実質増加
食料	35,335	-2.6	-0.9	-0.21	<減少>酒類,穀類など	4期連続の実質減少
住居	19,196	4.9	5.2	0.62	<増加>家賃地代,設備修繕・維持	2期連続の実質増加
光熱・水道	14,224	0.1	-2.5	-0.23	<減少>他の光熱,ガス代	2期ぶりの実質減少
家具・家事用品	3,646	1.7	6.0	0.14	<増加>家庭用耐久財,室内装備・装飾品など	6期連続の実質増加
被服及び履物	5,792	-2.6	-2.5	-0.10	<減少>履物類,和服など	4期連続の実質減少
保健医療	7,163	24.8	25.6	0.96	<増加>保健医療サービス,保健医療用品・器具など	3期連続の実質増加
交通・通信	22,165	14.7	14.5	1.83	<増加>自動車等関係費,交通	2期ぶりの実質増加
教育	0	—	—	—		
教養娯楽	18,372	10.9	13.4	1.44	<増加>教養娯楽サービス,教養娯楽用耐久財	2期連続の実質増加
その他の消費支出	35,592	5.9	(6.6)	(1.46)	<増加>交際費,諸雑費など	6期ぶりの増加

- 注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。  
 2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。  
 3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

#### 中 分 類

##### <増加項目>

	実質寄与度		品 目
交際費	[1.92]	.....	贈与金,住宅関係負担費
教養娯楽サービス	[1.44]	.....	外国パック旅行費,国内パック旅行費
自動車等関係費	[1.37]	.....	自動車購入,自動車等関連用品
家賃地代	[0.54]	.....	民営家賃,地代
交通	[0.48]	.....	鉄道運賃,航空運賃
保健医療サービス	[0.35]	.....	歯科診療代,整骨(接骨)・鍼灸院治療代
諸雑費	[0.29]	.....	信仰・祭祀費,非貯蓄型保険料

##### <減少項目>

他の光熱	[-0.31]	.....	灯油
酒類	[-0.29]	.....	ビール,発泡酒・ビール風アルコール飲料
履物類	[-0.16]	.....	運動靴,婦人靴

- 注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。  
 2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。



## < 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2013年1～3月期 - 総世帯）

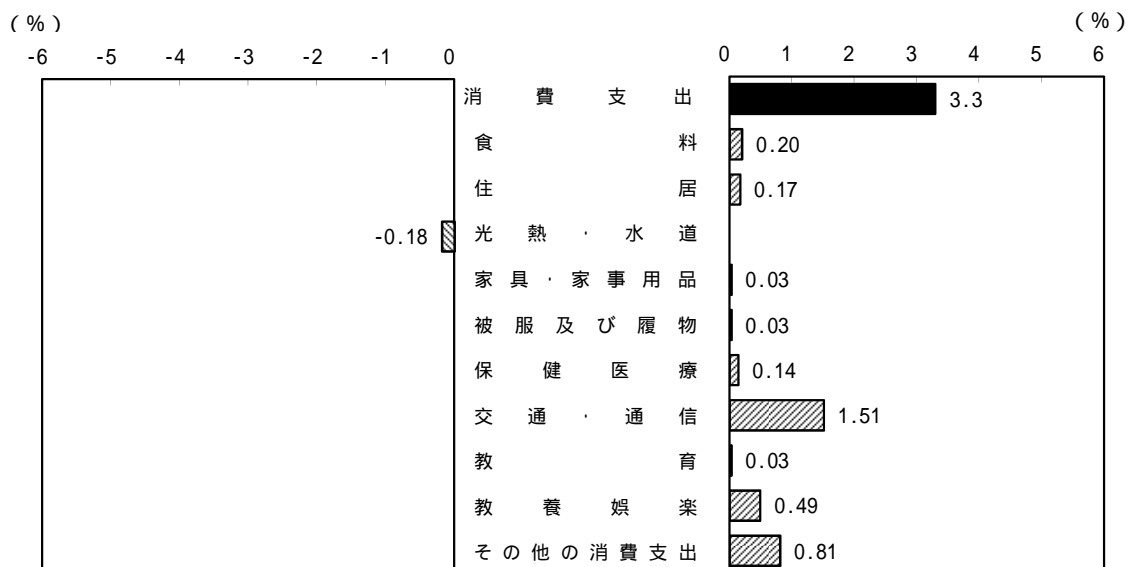


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2013年1～3月期 - 二人以上の世帯）

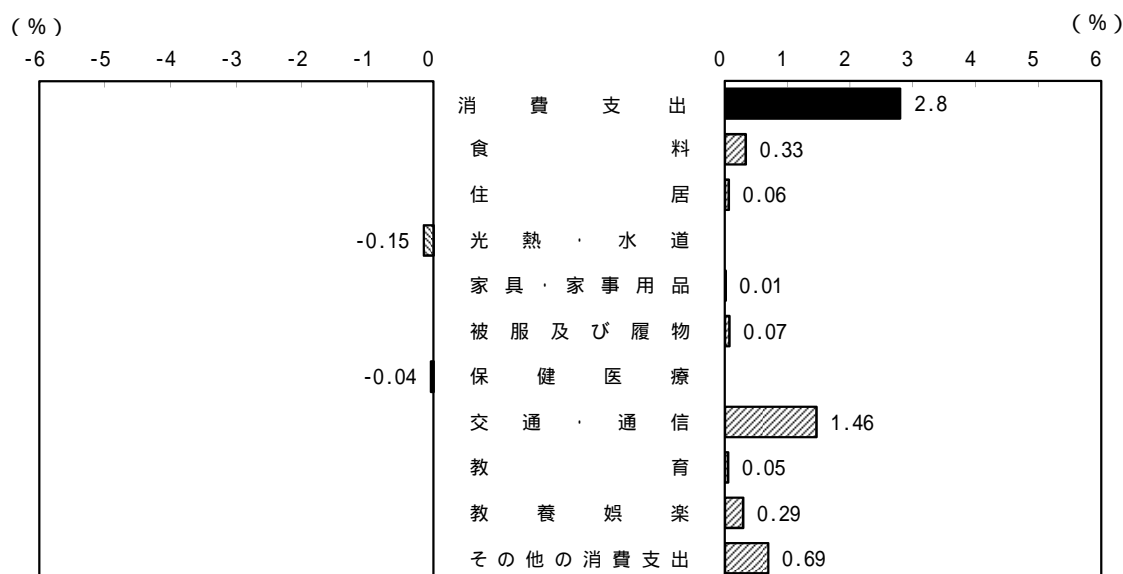
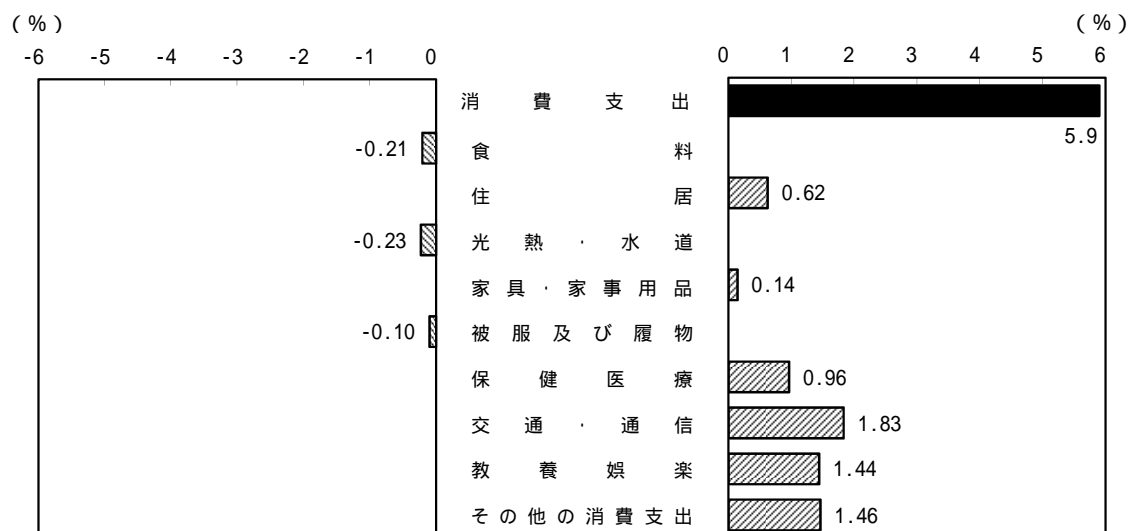


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（2013年1～3月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。